

# Capa. 5

(C)

つらさの向こうに

G An D G D G An D G

朝が来る前の薄暗さは

やがてなくなる

ガマンして待てば 眩しいほどの

オレンジの光がさしてくる

抱えきれないほどのことはかりで

何も見えない

やりたくななくても 幸いの向こうに

行くことだけを信じて

だから今はただ 時がたつのを

待ってようか

流れるものは流して

すべて枯れてゆくまで

# 1-マシ

辛いものりにこえた向こうには

幸せがある

「辛い」という字が帽子をかぶれば

「幸せ」という字になる

確かなもの向もないけれど

信じているよ

複雑なことはいつか

ほじけてゆくことを

幸せの前の辛いことは

やがてなくなる

ガマンして待てば 澄み渡るほどの

喜びが 込み上げてくる